

第45回 兵庫県スキー技術選手権大会

1. 主催 兵庫県スキー連盟
2. 後援 MEリゾート但馬・神戸新聞社
3. 協賛 (株)奥神鍋・(株)小賀坂スキー製作所・他：後日発表
4. 会期 2024年1月20日(土)～21日(日)
5. 会場 奥神鍋スキー場
6. 現地本部 奥神鍋荘 TEL0796(45)0168
7. 日程

◆一般及びシニアの部

(1)現地受付

1月20日(土) 午前8時30分～午前9時 「競技センター」

(2)開会式及び選手会

1月20日(土) 午前9時10分～ 「競技センター」

(3)競技日程

1月20日(土) 午後1時～ 競技開始

1月21日(日) 午前9時30分～ 競技開始

(4)表彰及び閉会式

1月21日(日) 競技終了後 「競技センター」

注1.上記日程は状況により変更することがある。

2.開会式に出席しない選手は出場できない。但し、代理人の出席は可とするが、複数の選手を代理することなくビブを着用して開会式に出席すること。

◆ジュニアの部（注意：2日目に開催します。）

ジュニアの部で希望される方は、SAJ スキーバッジテスト2級が受検可能です。

技術選種目の採点とは別にバッジテストの採点を行います。バッジテスト種目の内シュテムターンについては、技術選終了後、種目の講習を実施した後に検定を行います。

バッジテスト2級受検を希望される方は、受検料1,500円を添えて受付時に申込下さい。

(1)現地受付

1月21日(日) 午前8時30分～午前9時 「奥神鍋センター」

(2)開会式及び選手会

1月21日(日) 午前9時10分～ 「奥神鍋センター」

(3)競技日程

1月21日(日) 午前10時30分～ 競技開始

競技終了後、バッジテスト2級を希望される方は講習と検定を行います。

(4)表彰及び閉会式

1月21日(日) 競技終了後（一般及びシニアの部と同時）「競技センター」

8. 行事担当者 教育部理事 渡邊 康隆 スノーボード部理事 衣川 太郎

9. 競技カテゴリー

(1)一般の部

(2)シニア A(50歳～54歳)

- (3)シニア B(55 歳～59 歳) 2024 年 4 月 1 日現在の年齢区分とする。
(4)シニア C(60 歳～64 歳)
(5)シニア D(65 歳～)
(6)団体戦(1 チーム 3 名以上でエントリー可)

10. 競技種目

- (1)総合斜面・総合滑降
(2)急斜面・整地・小回り
(3)急斜面・整地・大回り
(4)急斜面・不整地・小回り
(5)急斜面・小回りリズム変化

注 1.シニアの部は、急斜面・不整地・小回りを除く 4 種目で実施する。

但し、希望により全種目(種目)に出走することもできる。

2.シニアの部のエントリー者は申込時に種目数を選択して申し込むこと。

3.団体戦のエントリー者は、5 種目に出走しなければならない。

11. 参加資格

◆一般及びシニアの部

- (1)2023 年度 (2023-24 年) の兵庫県スキー連盟加盟負担金を完納した所属団体に所属し、2024 年度 (2023-24 年) の(公財)全日本スキー連盟会員登録済みの者。
(2)申し込み時点で満 18 歳以上であり、SAJ スキーバジジテスト 1 級程度の技量を有し、所属団体長の推薦を得た者。
(3)「SAJ 補償制度」及び、スポーツ傷害保険、又はこれに準ずる傷害保険及び、賠償責任保険に加入している者。(未加入者の申し込みは受け付けない。)

(4)オープン参加

SAJ スキーバジジテスト 1 級程度の技量を有している方。

18 才未満は保護者の同意を得ていること。

◆ジュニアの部

- (1)小学生の部(1 年から 3 年生の部、4 年生以上の部)、中学生の部、高校生の部とする。
(2)保護者の同意を得ていること。
(3)オープン参加を認める。(1 級未取得可・SAJ 会員外可)

12.参加料

- (1)一般及びシニアの部(オープン参加含む) ¥7,000
団体戦の参加料は無料とする。
(2)ジュニアの部(オープン参加含む) 無料

13.申し込み方法

◆一般及びシニアの部

- (1)申し込み締め切り 2023 年 12 月 29 日(金)
(2)申し込み方法 デジエントリーによる
(3)参加料納付
クレジット・コンビニ・ペイジーによる支払い。

注、1つのクラブから3名以上エントリーした場合は自動的に団体戦もエントリーしたものとする。

但し、1つのクラブから団体戦に複数チームエントリーする場合はチーム数を担当理事に連絡すること。クラブの成績上位者から3人を、Aチーム、Bチーム・・・とチーム分けして集計します。

◆ジュニアの部

(1)申し込み締め切り 2023年12月29日(金)

(2)申し込み方法

担当役員へ申込書を郵送ください

申込書送付先 〒671-0324 姫路市御国野町国分寺 238-29

渡辺 康隆 宛 TEL090 (3486) 8293

(兵庫県スキー技術選手権 ジュニアの部参加申込書在中)

14. 抽 選 2023年1月5日(金)

抽選結果は、兵庫県スキー連盟ホームページに掲載する。

15. 順位の決定

総合成績の順位は、競技規則に定める採点方法により5審3採用で行う合計得点により決定する。

(ジュニアの部については3審3採用とする)

シニアの部にエントリーした場合、急斜面・不整地・小回りを除く4種目で競技を実施し順位を決定する。但し、全種目(5種目)を滑走した場合は、一般の部とシニア(該当の部)の両方で順位を発表する。

団体戦は、各チームとも上位3選手の合計得点により順位を決定する。

16. 表 彰

(1)一般の部/男子・女子とも総合1位から3位まで賞状及びメダルを授与する。

(2)一般の部/男子は総合4位から10位まで、女子は総合4位から6位に賞状を授与する。

(3)シニアの部・各部/男子・女子とも総合1位に賞状及びメダルを授与する。

(4)シニアの部・各部/男子・女子とも総合2位から3位まで賞状を授与する。

(5)ジュニアの部/男子・女子とも総合1位から3位まで賞状を授与する。

(6)団体戦/男子・女子とも総合1位から3位まで賞状を授与する。

17. その他

(1)競技中の選手の事故について応急処置は行うが、その責は負わない。

(2)積雪不良のため大会内容を変更する場合は、2024年1月8日から14日の間に兵庫県スキー連盟ホームページに掲載する。

(3)大会中止の場合は、参加料の半額を返金する。

(4)近畿大会スキー技術選手権大会一般の部の出場者は、本大会に出場のこと。

注：近畿スキー技術選手権大会シニアの部出場者については県スキー技術選に出場しなくても推薦する。

(5)全日本スキー技術選手権大会出場について(男子4名、女子4名)

a)本大会の一般の部男子及び女子総合成績1位を、全日本スキー技術選手権大会の推薦を決定する。

注1：合計得点に同数者がある場合には、上位3種目の合計得点の高い方から採択する。

注2：推薦を決定された者も近畿スキー技術選手権大会には必ず出場しなければならない。

b) 次の出場枠男子2名、女子2名は県スキー技術選手権大会の合計点数と近畿スキー技術選手権大

会の合計点数の合計をもとに選考します。但し合計点数に同数者がある場合は、各大会の上位 2 種目の合計点数をもとに得点の高い方とします。

c) 残り出場枠、男子 1 名、女子 1 名は、上記出場枠決定者男子 3 名、女子 3 名を除いて、近畿スキー技術選手権大会の合計点数で選考します。合計点数に同数者がある場合は、上位 3 種目の合計点数が高い方とします。県技選出場も確定の条件とします。

d) 補欠男子 1 名、女子 1 名については、県スキー技術選手権大会の合計点数と近畿スキー技術選手権大会の合計点数の合計をもとに選考します。但し合計点数に同数者がある場合は、各大会の上位 2 種目の合計点数をもとに得点の高い方とします。

e) シニアの部の出場者は、全日本スキー技術選手権大会への選考対象にはなりません。

(6) 本大会中止の場合の全日本スキー技術選手権大会出場者は、近畿スキー技術選手権大会の順位をもとに選考会で決定する。

(7) 本選手権大会競技の写真等を県連ホームページ等に掲載する場合があります。ご都合が悪い方は受付時にその旨をご連絡ください。

【競技規則】

競技規則を次の通り定める。

- 1 競技者は種目別スタート地点に集合し、スタート審判員の点呼を受け、応答しなければならない。
- 2 競技者は前者の出発後、直ちにスタート位置につき出発準備をしなければならない。
- 3 競技者は審判員の合図により出発しなければならない。直ちに出发しない場合は当該種目を棄権したものとみなす。
- 4 競技コートのフィニッシュ地点には停止ゾーンを設ける。ゾーンは、4 本のポールにより設定し、その区切りは色インク等により明示する。
- 5 競技は示された停止ゾーン内で終了する。
- 6 審判長は競技者の停止位置を確認し、停止ゾーンに著しい違反があった場合、他の審判員に通告する。
- 7 競技種目が必要とする斜面については、その条件を満たせる設定を行う。但し、積雪状況等により変更する場合がある。
- 8 競技各種目は斜面状況、積雪等に適合した回転弧で行う。
- 9 競技コート設定後のインスペクションはコース外から行う。但し、必要がある時は事前に告示、又は通告し、横滑りによりコート内に入れることがある。
- 10 競技者はこの大会期間中、総てにおいて行事担当者の指示に従わなければならない。
- 11 選手は、(公財)全日本スキー連盟公式用品委員会において認定された用具、用品を使用しなければならない。
- 12 プレートは、市販用品の正常な使用法に限る。改造もしくは複数商品を複合した使用法は認めない。
- 13 競技者はヘルメットを安全上必ず着用しなければならない。
- 14 選手が着用を許されるウェアは市販されている、あるいは市販されるルーズフィットなものとし、レーシングスーツ(ワンピース・ツーピース)は認めない。